

# 2023年1月15日のCMSおよびCMMでのSmart License Cloud証明書の変更のトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[CMMスマートライセンスで利用可能なオプション](#)

[プロキシを使用しない直接](#)

[プロキシを使用した直接](#)

[Transport Gateway](#)

[Specific License Reservation\(SLR\)/Permanent License Reservation\(PLR\)](#)

[解決方法](#)

[FAQ](#)

[1月15日より前にアップグレードしなかった場合はどうなりますか。](#)

[1月15日以降にアップグレードできますか。](#)

[1月15日以降にCMM 3.5以降でSLRを使用している場合、SLR割り当てを更新できますか。](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Smart Licensing Cloud Certificates(CLC)の証明書の変更が、Cisco Meeting Server(CMS)およびCisco Meeting Management(CMM)の導入にどのように影響したかについて説明します。

## 前提条件

### 要件

Cisco Meeting Server(CMS)およびCisco Meeting Management(CMM)に関する知識があることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

この記事では、[CMMリリースノート](#)の「Smart Licensing」(セクション1.5)の項に記載されている注意事項と、[FN72534](#)の参照先を示します。

「Cisco Smart Licensing Cloud証明書は2023年1月15日に更新されます。 Meeting ManagementとSmart Licensing Portal間のライセンスにダイレクトモードを使用しているお客様は、そのままダイレクトモードを使用するには、バージョン3.6にアップグレードする必要があります。バージョン3.6へのアップグレードが不可能な場合は、SLR/PLRモードまたはオンプレミスサテライトモードを選択できません。証明書の更新は、SLR/PLRまたはMeeting Management (3.5以下)を使用するオンプレミスサテライトを使用する展開には影響しません。Meeting Managementが時間内にアップグレードされない場合、Meeting Serverは引き続き動作しますが、ライセンスの適用が開始されず、Meeting Managementは90日の猶予期間に入り、その後、参加者の画面と音声プロンプトに非適合通知が点滅します。」

次のセクションで示すように、CMMスマートライセンスには異なる導入オプションがあり、それぞれに独自の特性があります。Cisco Meeting Managementの[Settings] > [Licensing] の[Transport settings] で設定した導入オプションによって、影響があるかどうかが決まります。一部の設定は、証明書の変更が行われるSmart Licensingクラウドに直接接続されていないため、影響を受けません。

## CMMスマートライセンスで利用可能なオプション

### プロキシを使用しない直接

CMMが引き続き機能するようにするには、CMMおよびCMSをバージョン3.6以降にアップグレードするか、特定のライセンス予約タイプに移行するか、Transport Gatewayを使用する必要があります。

### プロキシを使用した直接

プロキシが終了し、CMMとCiscoクラウド間のTLS接続を再確立する場合、プロキシがCiscoクラウドによって提示される新しい証明書を信頼することを確認します。

それ以外の場合、プロキシがCiscoクラウドへの新しいTLS接続を確立しない場合、CMMが引き続き機能するようにするには、CMMとCMSをバージョン3.6にアップグレードする必要があります。

### Transport Gateway

影響はなく、アクションは不要です。

### Specific License Reservation(SLR)/Permanent License Reservation(PLR)

影響はなく、アクションは不要です。

影響を受けるURLは<https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license>です。

## 解決方法

- **長期的なソリューション ( 推奨 )** : 2023年1月15日より前に、CMMを3.6以降にアップグレードするのが理想的です。90日間の猶予期間内に後で同様に動作します。
- **短期的な回避策**: CMMでの特定ライセンス予約(SLR)モードの使用  
またはCMMをオンプレミスのサテライトサーバCSSMに接続

Cisco Meeting Server 3.6リリースのダウンロードリンク

: <https://software.cisco.com/download/home/286309725/type/280886992/release/CMS3.6>

Cisco Meeting Management 3.6リリースのダウンロードリンク

: <https://software.cisco.com/download/home/286318491/type/280886992/release/CMM3.6.0?i=!pp>

外部Field Noticeへのリンク : <https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/725/fn72543.html>

Cisco Meeting Serverのアップグレード方法 : <https://www.youtube.com/watch?v=t2qqdydN01c>

## FAQ

**1月15日より前にアップグレードしなかった場合はどうなりますか。**

直接モードを使用しない限り、導入に影響はありません。プロキシが終了し、CMMとCiscoクラウド間のTLS接続を再確立するプロキシ経由のダイレクトモードを使用する場合は、Ciscoクラウドによって提示される新しい証明書がプロキシによって信頼されていることを確認します。

Directモードの場合、1月15日から90日間の猶予期間に入るため、できるだけ早くCMM 3.6以降にアップグレードする必要があります。

**1月15日以降にアップグレードできますか。**

はい。

**1月15日以降にCMM 3.5以降でSLRを使用している場合、SLR割り当てを更新できますか。**

はい、SLRライセンスの割り当ての更新に関して問題は発生しません。CMMでは、これを可能にするためにCSSMへのセキュアな接続を行う必要がありません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。